

2024年6月28日

各 位

本社所在地 東京都墨田区横網 1-10-5
KOKUGIKAN FRONT BUILDING 3階

会社名 堀田丸正株式会社

代表者 代表取締役社長 平岩 誠
(コード番号 8105 東証スタンダード)

問合せ先 管理部長 矢部 和秀
(TEL 03-6824-9481)

上場維持基準の適合に向けた計画書

当社は、2024年3月31日時点において、スタンダード市場における上場維持基準に適合しない状態となりました。下記のとおり、上場維持基準の適合に向けた計画書を作成しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間について

当社は、2024年3月31日時点におけるスタンダード市場の上場維持基準への適合状況について下表のとおりとなっており、流通株式時価総額については基準を充たしておりません。流通株式時価総額に関して、2025年3月末までに上場維持基準を充たすため、各種取組を進めてまいります。

	株主数	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率
当社の状況 (基準日時点)	7,364 人	187,890 単位	9.3 億円	31.5%
上場維持基準	400 人	2,000 単位	10.0 億円	25%
計画書に記載の項目	—	—	○	—
計画期間	—	—	2025年3月31日	—

※当社の適合状況は、東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況をもとに算出を行ったもので、流通株式時価総額は、流通株式数に事業年度の末日以前3か月間の日々の最終価格の平均値を乗じて算出しております。

2. 上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針、課題及び取組内容

(1) 基本方針

当社は、スタンダード市場上場維持基準の適合に関して、「株主数」、「流通株式数」及び「流通株式比率」については基準値を満たす数値を維持しておりますが、「流通株式時価総額」が基準に達しておりません。そのため、当社は「流通株式時価総額」の基準値である10億円を目指し、持続的な成長と企業価値(当期純利益)を向上させることで、流通株式時価総額の増加を図り、上場維持基準への適合に向けて取組んでまいります。

(2)課題

流通株式時価総額が基準値を下回っている理由につきましては、業績の悪化による株価低迷と配当政策が主な要因であると認識しております。

(3)取組内容

①企業価値の向上

当社グループは中長期視点での価値創造を前提とした事業の選択と集中および投資を継続的に推進、その一環として、当社グループのコア事業であるファッション事業ならびにマテリアル事業に経営資源を集中させることとしております。

ファッション事業においては、PB・ODM等自主企画品を強化するとともにD2C事業への投資を継続、マテリアル事業においては、海外売上拡大に向けた人財投資、取引先の開拓、燃糸の企画開発等を推進し、持続的な成長を実現する基盤づくりをおこなってまいります。

当社グループの企業価値向上のために対処すべき課題といたしましては、投資と構造改革のバランスをとり、以下の点に注力し、成長路線へ転換を図っていくことと考えております。

- ① ファッション卸事業における自主企画品の拡充により収益力の向上ならびに売上の拡大を図る
- ② D2C事業の確立、成長に向けた投資を推進
- ③ マテリアル事業における海外売上の拡大
- ④ きもの事業の事業モデル改革の推進を継続

上記の経営戦略を実行し、経営基盤の安定と成長を目指します。

②株主還元の施策

株主還元につきましては、重要な経営課題として認識しております。

健全な財務体質の維持及び将来の事業拡大に備えるための内部留保とのバランスを図りながら、各期の経営成績及び財政状態を勘案して、早期に株主優待制度の拡充を行います。

また、配当についても、早期に継続的かつ安定的な剰余金の配当を行うことを基本方針とし、株主還元の充実に努めてまいります。

③IR活動の強化

当社の株価が低迷している一つの要因として、当社のIR活動が東京証券取引所にて定められている必要最低限の情報開示であり、市場における認知度や期待度が低迷していることが原因だと認識しております。

今後はより積極的な情報開示に努めると同時に、業界紙へ当社の取組状況を積極的に掲載依頼するとともに、当社ホームページでの情報発信を行い、株主の皆様からも当社グループの状況や実績が分かりやすく伝わるページの内容充実に努めるなど、様々な検討を行ってまいります。

④大株主との関係性

当社の大株主はRIZAPグループ(株)であり、株式保有比率は62%となっております。親会社を中心とした各グループ会社との取引を拡大し、企業価値向上を目指します。

以上